

「保護者へ子育てに関する学びの場を提供」講座の様子

チーム名【 呉市家庭教育支援チーム 呉「親プロ」ファシリテーションクラブ 】

日時	平成30年9月7日（金） 15:00～16:00（小学校の授業参観の終了後）	運営者	家庭教育支援チームメンバー 4人 呉市文化振興課職員 1人
会場	呉市立坪内小学校 図書室	参加者	保護者と教職員 20人
今回のテーマ	体と心の変化 ～子供の思い、親の戸惑い～		

今回の活動のねらい・内容

ねらい

どの家庭でも困っていること、悩んでいることとして、今回は特に子供の「思春期」について参加者同士で話し合い、思春期の入り口を親子でどのように乗り切るかのヒントを見つけてもらう。

内容

- ・オリエンテーション（あいさつ、話し合いをする上での約束を伝える）
- ・アイスブレイク（学校の自慢の1つである「ホテルの里」にちなんで、みんなでホテルの歌を歌って温かい雰囲気づくり）
- ・「親プロ」教材を活用したグループワーク（グループで自己紹介をし、思春期でイメージする単語の書き出し。その後、思春期でわが子がどのように変わったか、どのように接したらよいかについて考え、話し合う）
- ・学習の振り返り（活動を通して、分かったこと、考えが変わったことを出し合い共有する）
- ・子供への接し方についてヒントとなる情報（啓発資料）の提供

今回の活動の様子



アロマや音楽で温かい雰囲気づくり



話し合うための「4つの約束」



チーム員が保護者を見守りながら支援



チーム員が保護者を見守りながら支援



保護者同士で感じたことを共有



子育てに役立つ情報を資料で配布

参加者の感想

- ・他の参加者の皆さんと子育ての悩みが共有出来て安心した。
- ・これからぶつかると思われる問題の心構えと対策が出来そうだった。
- ・子育ての先輩の意見を聞くことが出来て参考になった。
- ・保護者の方が抱えている悩み等を聞くことが出来て良かった。（教職員）

チームにとっての成果と課題

（成果）町のシンボルであるホテルをアイスブレイクやグループワークの工夫に取り入れるなど、地域密着型プログラムの展開をしていく中で、子供が異年齢の保護者の交流も深まり、地域の中で子育てを1人で抱えなくてもよいのだという安心感が参加者に広がった。

（課題）参加者が4つの約束を忘れグループ活動が行われていたときの、ファシリテーターとしての介入方法をもっと工夫していきたい。